

東京英語専門学校 学校自己点検評価 報告書

評価対象期間 自：令和6年4月1日 至：令和7年3月31日

教育目標

1. 「少人数制と個人個人の能力に応じた指導法」

少人数制で、きめ細かいフォローを実践する。

2. 「TOEIC、TOEFL のスコアアップ」

就職活動、大学・大学院進学に有利な高いスコアを取得する。

3. 「英語関連資格の取得」

英語に特化したカリキュラムで、スキル別能力編成を実施、資格取得をバックアップする。

4. 「就職活動、海外留学、大学・大学院進学等の支援」

専門の担当者が個別対応する。

評価項目の達成及び取り組み状況

評価点数 適切……4 ほぼ適切……3 やや不適切……2 不適切……1

1 教育理念・目的・人材育成像

- ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか

評価…4

- ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

評価…4

- ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか

評価…3

- ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

語学力を高めることだけではなく、国際交流も深め、グローバルな人材を育てる

という教育目標をかかげている。教育理念及び目的を定めた人材育成および英語力の増強にさらに力を入れている。

② 課題と今後の改善策

体験入学等で保護者への周知を心掛けている。全教職員に教育理念・目標への理解を深めてもらう。

2 学校運営

- ・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか
評価…3
- ・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
評価…3
- ・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
評価…4
- ・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか
評価…3
- ・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
評価…4
- ・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
評価…4
- ・ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか
評価…4
- ・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか
評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

学校運営の方針は、理事長、代表、校長、総合事務局長の合議制により決定され、具体的な運営方針を職員と共有し実践する。

学校の運営方針、各教育活動における意思決定、学生指導方針等を、定期的に情報共有している。

② 課題と今後の改善策

経営管理職の変更による新体制の学校運営は、情報共有および、時差出勤やシフ

ト調整など軌道に乗るようになった。

ただ、最終的な意思決定の部分で若干の混乱が見られる。決定事項の確認の徹底が必要。

3 教育活動

(目標の設定等)

- ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
評価…4
- ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
評価…4

(教育方法・評価等)

- ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
評価…4
- ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
評価…4
- ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
評価…3
- ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
評価…3
- ・授業評価の実施・評価体制はあるか
評価…4
- ・職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか
評価…3
- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
評価…4

(資格試験)

- ・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
評価…4

(教職員)

- ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
評価…4

- ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか

評価…4

- ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか

評価…4

- ・職員の能力開発のための研修等が行われているか

評価…3

現状・課題と改善策など

① 現状

個々を重視し、英語を使ったビジネススキルおよびコミュニケーション能力を総合科目および専門科目で、段階的かつ体系的に語学力の増進を図っている。

定期的な学生面談により、指導体制や授業評価等を実施し、教務部長が改善に着手している。能力別スキル別編成により、半期ごとにクラスの再編成を実施し、効果をあげている。

また、TOEIC 等の資格取得やスコアアップを目指した IP テスト受験を義務化しており、クラス編成にも役立てている。

② 課題と今後の改善策

過去の経験を生かし、学習や生活環境で孤立した学生に、いち早く気づけるよう、教職員間での連携を深める努力がさらに必要である。

イベントや面談などの開催を工夫して定期的に個別に実施する頻度を高くする。

4 学修成果

- ・就職率の向上が図られているか

評価…4

- ・資格取得率の向上が図られているか

評価…3

- ・退学率の低減が図られているか

評価…3

- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

評価…3

- ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

学生に対し、就職に関するセミナーに積極的に参加、情報収集をするよう指導している。退学率の軽減に関し、個別相談や LINE でのコミュニケーションを増やすなどして工夫している。特に留学生の在留管理には力を入れている。

② 課題と今後の改善策

学生の目的に合わせた少人数または、個別指導を実施している中で、相談しやすい環境を維持すること。また、面談に臨まない学生への対応について工夫が必要。

5 学生支援

- ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか
評価…4
- ・学生相談に関する体制は整備されているか
評価…4
- ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
評価…3
- ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
評価…3
- ・課外活動に対する支援体制は整備されているか
評価…3
- ・学生の生活環境への支援は行われているか
評価…4
- ・保護者と適切に連携しているか
評価…4
- ・卒業生への支援体制はあるか
評価…4
- ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
評価…4
- ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
評価…3
- ・関連分野における業界との連携による後の再教育プログラム等を行っているか

現状・課題と改善策など

① 現状

就職担当を配置し、企業および学内就職説明会や選考会を実施して効果を上げている。

定期的な学生面談で個々の進路および就職相談に応じている。

学生支援機構の奨学金等の申し込みについて専属の職員を配置して丁寧にサポートしている。学校独自の減免制度も学生支援の一環として継続している。

② 課題と今後の改善策

学生支援強化のため LINE を活用し、学生のアルバイト調査、低出席者の追跡を定期的に行っている。職員が情報を適切に共有し、迅速に対応できるようにする。学外での研修に参加するよう心がける。

6 教育環境

- ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

評価…4

- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか

評価…4

- ・防災に対する体制は整備されているか

評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

各教室に DVD だけでなく、英語学習に適した大型モニターが設置されており、Wi-fi も利用できるよう整備した。LIVE な動画等を活用した授業の実施のため、スピーカー等の音響施設を整えている。

災害時の避難場所の周知のほか、非常食と飲料水を再備蓄する。

② 課題と今後の改善策

アメリカ・カナダだけでなく、英語を母国語とする他国への海外研修の実施も検討する。

7 学生の受入れ募集

- ・ 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか
評価…4
- ・ 学生募集活動は、適正に行われているか
評価…4
- ・ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
評価…4
- ・ 学生納付金は妥当なものとなっているか
評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

ホームページの定期的な改定および学校案内の無料配布、さらに来校する学生及び保護者に対し、納得するまで相談に応じるなど、学生募集に関する情報提供に重点を置いている。入学までに希望者には、複数回、体験入学や個別相談に参加できる仕組みとなっている。

当校独自の奨学金及び減免制度で、入学予定者の財政的負担を軽減している。

② 課題と今後の改善策

体験レッスンを体験できる体験入学が好評のため、回数を増やすことを検討しているが、スタッフの休日出勤の問題もあり困難。代わりとしての個別相談会の回数を増やし、入学につなげたい。

留学生の入試における選抜方法についても改良が必要。

8 財務

- ・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
評価…4
- ・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
評価…4
- ・ 財務について会計監査が適正に行われているか
評価…4
- ・ 財務情報公開の体制整備はできているか

現状・課題と改善策など

① 現状

18歳人口の減少もあり日本人学生は入学者が増えないが、外国人留学生の入学者は、コロナ禍以降回復し、定員を満たしている。

コロナ禍の時も、過去の蓄積もあり、財政基盤は安定しており、収支動向はこの十数年バランスの取れたもので、銀行・信用金庫からの借入金ゼロ経営を継続している。

決算の会計監査は適正であり、当該税務署の定期的調査も信頼が高い。

② 課題と今後の改善策

財務基盤安定のためにも、留学生募集に関しては今後も力を入れる。

日本人募集は18歳にこだわらない、社会人の広い層からの募集を強化する。

経費に関しては、節約を徹底し、支出の妥当性を常に精査する。

9 法令等の遵守

- ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

評価…4

- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

評価…4

- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

評価…4

- ・自己評価結果を公開しているか

評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

各種関係法令に遵守しており、コンプライアンス精神の周知徹底に努めている。個人情報保護については、入学要項およびホームページにも明文化されており、周知と管理を適正に行っている。

② 課題と今後の改善策

学生及び教職員が個人的に行う SNS に対し、ガイドラインを作成し適切な運用

を促す必要がある。

10 社会貢献・地域貢献

- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
評価…3
- ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
評価…2
- ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか
評価…3

現状・課題と改善策など

① 現状

社会貢献であるボランティア活動等は、個々の学生の判断に任せている。
緊急時には、地域に学校の施設を提供する準備がある。災害時の非常食、飲料水、防災用具も保管している。

② 課題と今後の改善策

学生本人の希望もあるが、出来るだけ地域の人々と触れ合う機会を作っていくべきと考える。学校周辺の美化運動など出来ることを実行していきたい。
そのような活動を通して、学生の母国の異文化と日本文化の交流に貢献していきたいと思っている。

11 国際交流

- ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか
評価…3
- ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
評価…4
- ・留学生の学習・生活指導等について学内の適切な体制が整備されているか
評価…4
- ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか
評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

在留資格を持つ多国籍の留学生を受け入れており、卒業後、母国や日本で国際貢献に従事する学生も多い。VISA 取得のサポートは手厚い。また、日本での生活指導も定期面談等で行っている。教師は担当教科に対する学習支援を惜しまない。

② 課題と今後の改善策

日本の文化やルールをあまり理解していない留学生も多く、それに起因するトラブルが発生することがある。日本の法律を遵守させるためにも、さらなる指導は必要。